

はじめに

本書は、アジア考古学四学会が合同で主催した講演会「アジアにおける農耕の起源と拡散」を基本としたもので、『陶磁器流通の考古学』、『アジアの王墓』に続く「アジアの考古学」シリーズの第3冊目となる。

第8回を迎えた今回の合同講演会は、2015年1月10日に明治大学駿河台キャンパスを会場として開催され、基調講演を工楽善通先生にお願いし、続いて宮本一夫(日本中国考古学会)、新田栄治(東南アジア考古学会)、常木晃(日本西アジア考古学会)、青山和夫(日本考古学協会)の各先生にご講演をいただいた。従来の合同講演会は、アジア各地域に共通して認められる器物や事象をテーマとし、それを全アジアの視野から概観するというものであったが、今回は新たな試みとして新大陸をも射程に収め、さらなる視野の拡大を目指した。

本書はそうした講演会の趣旨を活かす方向で編集され、当日に講演いただいた5名の先生による論攷に加え、日本列島を含む東アジアの事例や西アジア型農耕が早くから拡散した西アジア周辺地域の事例の充実を図るとともに、新大陸についてはメソアメリカのほかに南アメリカについての論攷も含めることができた。なお、工楽先生の論攷は当日の講演内容を起こしたもので、基調講演収録として冒頭に掲載したが、ご多忙のなか大幅な手直しをしていただいた。

史的唯物論に代表される、食糧生産経済の発達のみを重視する姿勢についてはいろいろと批判がみられるようになったが、農耕が社会に大きな変容をもたらしたことは否定することができない。最新情報をふんだんに盛り込んで描かれる各地域の状況は、改めて農耕と社会の関係を考える絶好の機会を提供してくれるものと考えている。

本巻編集担当

日本西アジア考古学会 田尾誠敏・三宅 裕

目 次

はじめに

灌漑農耕の始まりと拡がり……………工楽善通 5

第 I 部 アジア東部の多様な農耕

日本列島における縄文時代の栽培植物……………中山誠二 27

日本列島における農耕の拡散……………田崎博之 47

中国大陸における初期農耕の出現と拡散……………宮本一夫 69

韓半島における農耕の開始と拡散……………古澤義久 85

東南アジアの農耕……………新田栄治 115

第 II 部 西アジア型農耕の起源と拡散

西アジア型農耕社会の誕生……………常木 晃 133

西アジアにおける農耕起源とムギ類の栽培化……………丹野研一 161

地中海へと渡った農耕……………笹津備当 187

西アジアからエジプトへの農耕牧畜の伝播と
エジプトにおける発展……………白井則行 211

南アジア 農耕の始まりと特徴,
冬作物と夏作物……………宗墓秀明 253

中央アジアにおける農耕の起源と展開……………林 俊雄 273

第Ⅲ部 新大陸の文明と農耕

メソアメリカの農耕と文明の形成……………青山和夫 289

南米における農耕の成立と文明形成……………関 雄二 307

執筆者一覧 327